

標準仕様書

この請負事業に関する仕様書等は次のとおりである。

- (1) [造林事業請負標準仕様書](#)
- (2) 造林事業請負実行管理基準（造林事業請負標準仕様書内の別添に記載）
- (3) [関東森林管理局仕様書](#)

掲載場所：<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/keiri/20140423.html>

特記仕様書

1 地拵について

(1) 作業仕様

作業種	植幅及び置幅	適用区域等
全刈地拵	植幅 2. 7 m以上 置幅 1. 7 m以内	スギ植付区域に適用
	植幅 2. 5 m以上 置幅 1. 5 m以内	カラマツ植付区域に適用

(2) 沢沿いにおける林地残材等の流出防止対策について

沢中の林地残材等は、流出のおそれのない沢敷外に整理、集積するものとし、必要に応じて杭を打つ等の手段を施して柵積すること。

2 植付について

(1) 苗木の仕様

樹 種	苗 齢	長 さ	根元径	コンテナ容量	摘 要
スギ花粉症対策 (コンテナ苗) 特定母樹	2 年以上	30cm 以上	3.5mm 以上	150～300cc	事業内訳書のとおり
カラマツ (コンテナ苗)	2 年以上	35cm 以上	4.0mm 以上	150～300cc	事業内訳書のとおり

* 上記の仕様書を基本とするが、変更が生じる場合は事前に相談すること。

* 定められた配布区域内とするが、産地は指定しない。

(2) ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	ha当たりの 植付本数	苗木の植付間隔（水平距離）		適用林小班等
		列 間	苗 間	
ス ギ	2, 0 0 0 本	2. 2 m	2. 2 m	事業内訳書のとおり
カラマツ	2, 4 0 0 本	2. 0 m	2. 0 m	事業内訳書のとおり

3 放射線障害防止措置について

請負者は、「東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」（平成23年厚生労働省令第152号）に基づき、特定線量下業務従事者に対し適切な放射線障害防止措置を講じること。

4 CSF（豚熱）の感染拡大防止対策について

CSF（豚熱）の感染拡大防止対策のため、福島県における CSF 対策を熟知して適切な対策に努めること。